



令和7年度 学校だより

城南っ子

〔学校教育目標〕

自律的に学び、認め合い、  
ともに成長しようとする児童の育成

○自律的に学ぶ子 ○仲間を大切にする子 ○心身ともに健やかな子



那覇市立城南小学校

令和7年12月24日

第37号

文責：校長 田島正敏



## ワクワク！楽しみ！冬休み



12月26日(金)～1月4日(日)までの10日間の短い期間ですが、冬休みに入ります。この間、クリスマス、大晦日、お正月と子供たちの楽しみにしているイベントが待っていますね。

楽しい冬休みも、事故に遭ったり病気になったりすると残念なことになります。子供たちには休み中の安全面、生活リズムの乱れと健康面に十分気をつけて過ごしてほしいと思っています。保護者の皆様、よろしくお願いします。

さて、2学期前半には、子供たちは学校だけでなく地域や市・県で行われるいろいろな行事に参加したり、大会やコンクールで頑張ったりとたくさんの活躍がありました。24日(水)はその頑張った証である賞状の伝達表彰を行う表彰朝会でした。時間内に収まらないくらい表彰があり、とてもうれしく思いました。私が学校の行事で特に印象に残っているのは、運動会です。みんなが全力で取り組み、持てる力を十分に発揮し、充実感に浸っている姿が良かったです。

2学期後半も引き続き、頑張ったことや積極的に取り組んだことがあれば、みんなに紹介して行きたいと考えています。(賞状などがなくてもお話を聞かせてくれることでも大丈夫です) また、新年を迎えるにあたり、この1年を振り返って、何ができるようになったか、上手になったかを改めて確認し、1年間で学んだこと身についたことがたくさんあること、それが自分の可能性であることを認識してほしいと思います。その上で、できなかったことを克服するためにどうしたらよいか手立てを考え、何事にも果敢にチャレンジしてほしいと思います。(何でもできる！自分の可能性を信じて)

来年も子供たちの活躍に期待しています。



サンタさんに願いが届くかな？



1年生のアサガオは、クリスマスのリースになっていました。きれいに飾り付けされ、たくさん飾られてとてもきらびやかでした。今日見てみると全部取り外されていました。今は各家庭に持ち帰って飾られているようです。



## 思春期教室で学んだこと

授業参観日に行われた思春期教室で、6年生が学んだこと思ったことなどの感想を、お話いただいた助産師の古澤先生宛てに書いたお手紙を紹介しします。

話を聞いて自分の心と体の変化についてより詳しく知ることができました。誰かに抱きつかれそうになったら「NO(やめて)」としっかり相手に伝えて嫌なことは「いや！」と言おうと思いました。また、人は10歳～18歳くらいまで思春期ということも知ることができました。もし、自分の体に変化が起こっても、これも思春期の一つだと知ることができたので少しは安心しました。これからは自分の心と体にしっかりと向き合っていくって協学んだことを忘れず過ごしていこうと思います。

今日の思春期教室で人は10～18歳くらいまで思春期だということや、人にはそれぞれ境界線「バウンダリー」があり、自分と他人を区別し、どこまで関わってどこまで自分を守るかという心理的な線引きがあるということを知ることができました。特に、10～18歳の思春期には「バウンダリー」が強くなり、人のバウンダリーに強引に入ってしまうと「暴力」にもなるということも学ぶことができたので気をつけたり自分がバウンダリーに入られてしまったら「いや！」としっかり言えるようにしたいです。

思春期教室を受けて、人には境界線があることや性器の洗い方などをよく知ることができました。僕はあまり境界線があることを知らず、人にいろいろなことをしてしまうことが少しあったので直していくと同時に思春期のことをいろいろ調べ、自分がお父さんになったら、そのことを子供に教えられるようにしたいです。教室を開いてくれたことで自分を見つめ直すことができました。ありがとうございました。

性に関するデリケートな部分も、みんな自分事として真剣に聞いてくれていますね。さすが専門家のお話は説得力があります。これからも、専門家やその道に詳しい方を活用して子供たちの学びに活かしていきたいです。

## 「読み聞かせ」 ありがとうございます。



毎週火曜日の「読み聞かせ」ありがとうございます。おかげさまで、城南小の子供たちは、本好きが多いです。読み聞かせは、紙芝居や絵本だけでなく、体験した話や落語なんてものもありですね。

さて、保護者の皆様にお願いがあります。高学年の読み聞かせの時間に「職業(仕事)」のお話をしていただける方を募集しています。実は、本校では児童アンケートの「将来の夢や目標がある」という項目で、「ある」と回答した児童の割合が、学年が進むほど低いという結果が出ています。全国や市と比較しても低いです。そこで、高学年には様々な職業があること、その仕事をするにはこんな知識やこんな資格が必要なこと、そのためには…などとお話をいただけないでしょうか。今週は、5年生の教室で、アロマテラピストの伊藤さんが、将来の夢を実現するために、何をしてきたか、紆余曲折しながら、これまで経験した様々なアルバイトや仕事などについて話をいただきました。確かに以前には、4年生に飛行機の整備士のお父さんがお話をされていたこともありましたが、子供たちが、様々な仕事を知り、職業観を身につけ、自分の夢や目標が見つけれられるよう是非ご協力をお願いします。

「ハグ&お手伝い」の感想が届いています。取組ありがとうございます。「ハグの日だから」と抱きついてきた我が子、最近は一歩早く起きて朝食の準備を手伝ってくれます。食器を並べ卵を焼き大活躍。ありがとうのハグも増えています。